

## 府中市生涯学習審議会（平成25年度第9回）会議録

1 日 時 平成26年3月10日（月）午後2時～4時

2 会 場 府中駅北第2庁舎 5階会議室

3 出席者

（1）委員8名（50音順）

石田和男委員、川内清文委員、木内直美委員、茂田嘉彦委員、設楽厚子委員、  
芝 喜久子委員、寺谷弘壬委員、山内啓司委員

※井上治男委員、大谷久知委員、小林 繁委員、澤井幸子委員、鈴木映子委員、  
田野倉晴美委員、三宅 昭委員は欠席

（2）職員3名

矢ヶ崎生涯学習スポーツ課長、市ノ川学習推進係長、大木事務職員

4 開会

5 連絡事項

（1）配布資料の確認

①平成25年度第7回生涯学習審議会会議録（案）

②平成25年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3回役員会・拡大役員会  
の会議要点録

③平成25年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会資料

④第56回全国社会教育研究大会徳島大会の開催について

⑤みんなの生涯学習 NO. 114

（2）平成25年度都市社連協 第2回理事会の報告

2月20日（木）午後2時半～ 生涯学習センターゆとろぎ（羽村市）

[意見の趣旨] ■：委員 ➡：事務局

■ 第56回全国大会は10月23、24日に徳島県で、第57回は大分県で開催される。第58回は関東甲信越静地区に来るということだった。もし時間ができたら徳島大会に参加していただきたいと思う。

平成25年12月7日に行われた交流大会の実施報告があった。参加者が186名、懇親会は108名が出席した。内容については、出席した方に前回審議会では報

告をしていただいたので割愛させていただきます。

第45回関東甲信越静社会教育研究大会について、11月20日、21日に神奈川県鎌倉芸術館で、分科会は大船、藤沢、鎌倉周辺で行われる。都市社連協から西東京市が分科会担当として出ている。大会のスローガンは「社会教育がつなぐ ひと、地域、そして未来」である。案内が届くと思うが、会場も近いので参加していただくと勉強になると思う。

平成25年度の表彰について、府中市の該当者はいない。平成26年度の統一テーマについて、昨年の交流大会の分科会等でご意見を聞かれたと思うが、その分科会の中でもせっかく作ったテーマなので1年で終わるのはもったいないので、継続することが必要という意見が多かった。都市社連協のメインテーマは継続になり、サブテーマを付する形で、平成26年度の統一テーマにして、4月の総会で提案をするということだった。定期総会の議案書(案)については、皆さんへ配布している。

平成26年度交流大会の社会教育委員研修会について、11月29日(土)に秋川キララホールでおこなわれる。時間がありましたら参加をお願いしたい。

- ➡ 定期総会については、正式な通知がきていないので、参考資料の日程を仮で空けておいていただきたい。定期総会の内容は、理事会で承認されたが、繰越金の金額が多いという意見がある。これについては、各ブロック研修会での経費を増額するなど、繰越金を減らす努力をするということだった。

今年度の表彰は該当する方はいなかったが、来年度は2名の方が表彰される予定になっている。

役員については、ここでやっと一回りして、平成28年度で八王子市に戻るのに、平成33年度に府中市が会長市になる予定である。

- ➡ この後、3階の国際交流サロンを見学させていただくことになっている。休憩時間を兼ねて、ご覧になりたいという委員は見学をしていただきたい。午後3時から国際交流サロンが休憩に入ることなので、午後2時半から10～15分程度見学できればと思う。

## 6 審議・協議事項

### (1) 国際交流サロン見学の感想

- 大学で言語学を専攻していて、1年程、学校で講義をしていたこともある。一見すると自分が使っている言葉を説明するのは簡単そうに思うが、自分の母語を説明

するのが1番難しいと言われているので、指導者の方は色々な勉強をして大変なことをしていると思う。NPOボランティアセンターにもたまに問合せがあり、口コミで知ったという方が増えている。先ほどの話しでは、外国人登録原票がなくなったので、口コミで増えているのだと思った。

- ボランティアの域を脱している。
- 以前にボランティアをしてほしいと声をかけられていたが、それは英語と日本のやりとりだと思っていたので、それは私には難しいと思っていた。やさしい気持ちで人として接するような、ファシリテーターの高度な交流だと思って感心していた。
- 国際交流推進委員会の答申委員長をしていた。東芝などの色々な企業や主婦にも加わってもらっていた。50年前にアメリカに行ったときに、似たようなことをやってもらったことがある。英語を教えてもらったり、映画に連れていってもらったりしていたのを思い出していた。ここまでやっているのは大変なことだと思う。それをボランティアでやっているのが感心した。
- ボランティアを生き生きとした表情でやっていたので、良い生きがいに繋がっているのだと思う。
- カリキュラムを個々に作っているのに驚いた。
- まずレベルを見て、全然話に通じていない場合は、「あいうえお」から始め、本人が興味を持つテキストは何冊か用意して見せて決める。
- 教材はあるのか。
- 事務局に山ほどある。そこから選んで使う。本人が持参した場合は、それを使う。
- 良い機会を与えていただいた。

## (2) 答申の検討について

- 地域で自分が活動している中で、気が付いたこと、課題と実情などを教えていただけたらと思う。
- 女房が武蔵台で書道をやっているのを見にいった。日展の先生が半分ボランティアでやっている団体に所属している。その他にも国際交流サロンでボランティアをしている。私も審議会委員になって2年目になるが、彼女も同じ頃からボランティアを始めた。教えるよりも逆に勉強になっているようだ。
- 良い先生を迎えての書道グループだと思う。
- 伝統があるようだ。弟子の方も日展に入ったりする良いサークルである。文化センターの活動はほとんどが高齢者なので、このままではなくなってしまうかもしれない。生涯学習センターも指定管理になったので、もう少し広がりがあると良いと思う。結局、高齢者だと近くの方しか来られない。団体には良い先生をボランティ

ア的に呼んでいるところもあるので、もう少しPRしてもらえると良いと思う。

話は変わるが、北山1丁目で消防訓練があった。消防車が2台来て、参加者もかなり集まったが、自分の住んでいる通りの人しか知らず、ほとんど知らない人だった。そういう組織もうまく利用していきたい。

- ご近所が顔を合わせるという機会がない。
- 住んでいる所で花見をする、自治会親睦会というのがあり、もし雨が降ったら文化センターでやることになっている。親睦委員会で、納涼祭り、花見の会、西文まつりに参加することになっている。他の自主サークルなどにも声をかけている。すごい枝垂れ桜があり、私たちの団体が管理してきた。そこで花見の会をしていたら、男の人たちは午後から宴の会を始め、少し広がりつつある。もともとは私の団体が核になってやっていたが、自治会に皆でやろうと呼びかけて5年くらいになる。
- 紅葉丘文化センターの圏域では自主グループが半減している。あと公民館講座がうまく働いていない。魅力ある講座を考えていけたらと思う。
- 府中公園では桜の木が700本あるので、桜まつりが開催されるが、府中市が決定している日程がこのところ外れている。寒かったり、ほとんど中止のようになっているので、もう少し範囲を広く決めて臨機応変に対応すべきではないか。ずっと前から業者がぼんぼりを付けたり、踊る団体にも前もって連絡をしてある関係で、変えられないとは思いますが、えらい寒い日にやっていたりする。

懇親会が一番出席率が高いので、飲みニケーションはかなり重要だと思っている。そして府中の桜もかなり誇れる。これだけ桜が固まってあるところは少ない。あまり賑やかになると周りの住民が困ってしまうが、気候に合わせた日程を選ぶと良いと思う。
- お祭りが多いというのは良いと思う。
- 府中は太鼓の音や打ち上げ花火もやっている。
- 抹茶と短歌と俳句を優雅に嗜んでいたが、お酒がないと男性が来ない。そういうことが分からなかったが、男の人を引っ張るにはそういう手もあると勉強になった。
- ボランティア活動センターの団体は年々増えている。仲間になってしまえば参加しやすいと思うが、仲間になるまでが大変だと思う。何かしら中に入ってファシリテーターのような人がいれば、もう少し参加率も増えるのかと思う。それとは別に、他の文化センターでは団体は減っているのか。
- ➔ 中央と片町文化センターでは、登録している団体が多すぎるので新規団体は受付していない。6年前は1200団体あったが、現在は1050団体程になっている。それも大きく減っているわけではない。
- 地域性があるということだと思う。

- ➡ 押立や四谷文化センター等、交通の便が悪いところは、登録数自体が少ない。最近マンションができた地域等は少し増えているところもある。
- 公民館でなくても、西府の桜のように地域に何かあると、人が集まったり、交流ができたりするのだと思う。そういう物の発掘が必要である。
- サークルが固定してしまっていて、新しい委員が発掘できない。
- シニアの活動が中心ということだが、シニアとはどのくらいの世代を指すのか。
- 60歳以上。
- ほとんど65歳にならないと来ない。それまでは何だかんだ言って働いている。会社も65歳定年制になってなくても65歳まで残している。長くて67歳までいることもある。そうしないと後ろに繋いでいけない。しかも正社員でない人がたくさんいて、その人たちがどのくらいできるかで、会社が潰れるか潰れないかが決まってしまう。技術を教えられる人を必ず残さなければならない。なので、団塊の世代が60歳過ぎたら地域にでてくると言っていたが、出てくるわけがない。
- それぞれの会社の事情にもよる。
- 会社によっては、帰属意識が高い大きい企業は、集まれる場所があるので、地域には帰ってこない。
- 地域デビューをするよう誘わなければならない。
- 大学でも定年制があり、延ばしているところがある。急に団塊の世代が来るということにはならない。
- ボランティアをしようとする方の年齢も上がっているのか。
- そうだと思う。男性で80歳以上まで生きる人がいると、身体が健康である限り、続けていたいと思う。そういう意欲があればできるので、やめなくても良い。そういう人が増えてきているという面もある。
- ただ、若い人はさらに獲得しにくくなってくる。
- 会社組織などの帰属意識が高いところにいた人たちが、退職して全く何もない状況になると何をしたら良いか分からなくなる。そういう方たちは自分の存在価値を上げるようにしなければならない。そのためには、「学び返し」しかないと思う。そういう老師が集まると知識集団のようになるので、第2の帰属意識ができるのではないか。自分たちの存在を高めるには何をすべきか考えて、努力しなければならない。
- 私の団体は平均年齢が75歳で女性の多いが、男手が必要なときは、よその奥さんが声をかけると協力してくれる。夫婦間で言うより効果がある。
- 八王子市では「お父さんお帰りなさいパーティー」をやっている。
- それは地域がやっているのか。

- 市全体でやっている。セカンドステージが紹介されていて、一遍に見られるところもある。また、初めて来た人には案内するようなファシリテーター的役割の人もある。府中でもそういうことをしてはどうか。
- やる場所はあると思うので、転入してきた人同士でもうまくいくのではないかな。
- 自発的に出てきているのか。
- 20年程やっているようで、最初の頃は参加者が少なかったようだが、今は定着しているので、楽しみにしている人が多い。初めて行く人も案内人がいるので、一人になることがないのはポイントだと思う。話を聞いていると、地域ごとに色々な問題があって、それぞれで解決しようとするよりは、多くの人を一か所に集めた方が良く思う。実際に国際交流サロンのボランティアの参加率はかなり高いし、場所があって横の繋がりができれば良いと思う。
- そういう時に色々な情報を流せる。
- やはりPRしないと分からない。今の自主グループは80代が多いので、60代が入ってくると若くなる。主婦で子育てが終わっている人なら可能かもしれないが、30代や40代は仕事があるので無理がある。
- 自分たちの老後のことを考えると、老人は老人同士で励まし合っていかなければならないのかと思う。介護支援センターでやっているハッピー体操に行ったとき、5人来ていた。介護保険を受けていない人なので、口も達者で元気な人たちだった。お話を自由にしたり、体操したりしていたが、介護支援センターもそういうグループを育てていこうということではじめている。今度は自分の得意なものを持っていくことになっているので、自分で作った映像を持っていこうと思っている。また、自主サークルを作ることになったが、5人だけではもったいないと思ったので、周りの人をどう巻き込んでいくかを考えていた。
- 府中市の公民館も一番熱心なのは、女性中心の体操である。
- 講義料が1000円だったと思う。
- 高齢者が病院漬けになるよりは、そういう所にいった方が日本の税金を使わずに済んでいるので良いことだと思う。医療費は高齢者が使いすぎて、若い人たちの医療費まで食い込んでいるから、あまり使わないようにしないといけない。
- 男性も2人来ていたが、来なくなってしまった。自分の生い立ちから話していたので、面倒になってしまったのかもしれない。女性ばかりが話していたので、男性には辛いかなと思っていた。
- 男性はプライドが高い。高齢者に囲碁をやる場所に連れていったが、あんな若い人に教わるのは嫌だと言ってやめてしまった。
- 悠学の会に入っているが、すばらしい人材がたくさんいるので、どういうふう

活用したら、もっと発展していくのか考えている。ファシリテーター養成講座を受けたり、逸材がたくさんいるので、文化センターの公民館講座か何かで活用してもらえば、文化センターの活性化に役立つのではないかと。

- 良いことだと思う。文化センターの公民館講座の担当に話せば可能ではないか。
- ➡ 公民館担当はいるが、お金の扱いや定期的にやるのであればコミ協との対応など課題がある。各地域にファシリテーターがいて、講座を企画できるような人たちが人材を使うことも可能だと思う。色々な課題を皆さんから伺って、市や地域はどうしたら良いのかを皆さんで話し合いながら決めていく場を作っていきたい。
- コミ協との人たちにも公認になっていなければならない。きめ細かな把握はしていないので、公民館講座が停滞しているのではないかと。教養講座は特に、学習センターから発信して、足を運ばなくても文化センターで映像が見られるようにできないか。
- ➡ 技術的にはできると思うので、あとは障害をどう取り除くかは皆さんと考えて行かなければいけない。
- 視聴覚は全てダメになってしまっているから、機材も貸さないとなると困ってしまう。液晶プロジェクターくらいは用意しておかないといけない。経費削減は分かっているつもりだが、映画まつりをやめようということになり、平成の間の高いプロジェクターを借りなければならない。
- ➡ 公民館講座は担当職員が分かってきたところで異動してしまう。それをファシリテーターの役割を持った地域の方をお願いすれば続いていくのではないかと。そういうところでも協働になるのではないかと。
- 生涯学習センターで撮ったものを文化センターに持っていけば良い。
- ➡ 当初はそういう目的で講堂に録画設備が作られたのだが、技術者もいなくなりできなくなった。
- 参加型は難しいかもしれないが、一方的に講演するようなものであれば、公民館を巡回することはできると思う。プロジェクターごと巡回すれば全てになくても良いと思う。
- ➡ 今までやってきたことは1年かけて理解していただけたと思うので、これからどうしていくかというご意見をいただけると、今後の答申にまとめていけるのではないかと。

7 次回審議会等の日程について

▽平成26年度第1回審議会

日程：平成26年4月28日（月）午後2時～4時

会場：府中駅北第2庁舎 3階第1会議室

以上